

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	薬学教育における生成AIの利用に関する研究—授業アンケート等を用いた振り返り—
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科附属実践薬学教育センター・助教・幡生あすか
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2026年3月4日 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2026年3月4日～2029年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	なし
6. 研究の目的・意義	薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）では、薬剤師に求められる10の基本的資質・能力の一つとして「情報・科学技術を活かす能力」が加わりました。また、近年、薬学教育における生成AI（Generative Artificial Intelligence）の倫理的な利用や教育の重要性が示されています。 本研究では、「薬学統計」の授業の一環として行ったアンケート調査と受講生のレポートを分析し、薬学教育における生成AI教育のあり方に関する示唆を得ることを目的とします。 研究成果は、今後の改訂版コアカリ対応の授業を策定する際の参考とすると共に、薬学教育の発展に寄与する事が期待されます。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2025年度に大阪大学薬学部で「薬学統計」の授業を受講された方。 「薬学統計」の授業内で提出された授業アンケート、レポート課題等、授業実施にあたり収集した情報を大阪大学のCLEより収集します。また、CLE以外の方法（紙やGoogleフォーム）で実施した無記名の授業アンケート等、研究責任者が保有している情報をあわせて使用します。 本研究の実施にあたり、対象の方に新たな情報の提供をお願いする事はありません。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	授業アンケート、レポート課題等の情報を利用します。
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の情報を研究に利用されたくない方は連絡先までその旨お知らせください。解析対象から除外いたします。その場合に不利益が生じることはありません。 ただし、2026年6月以降、調査（集計・分析等）が終了したデータや、ご本人が特定できないものについては、対象から除くことができない場合がありますので、ご了承ください。
10. 研究資金・利益相反	本研究は運営費交付金により実施し、利益相反はありません。
11. お問い合わせ先	住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6 電話：06-6879-8250 e-mail: ashatabu@phs.osaka-u.ac.jp（◎は@です） 担当者：大阪大学大学院薬学研究科附属実践薬学教育センター（兼）医療薬学分野 助教・幡生 あすか